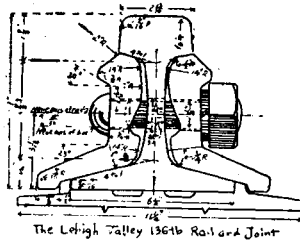


此軌條の使用高少なかりし爲め、中央部のものは展製せず鐵材を削りて作れり、而して支承部には工形桁を用ふることを得へし。
 此軌條を以て作れる軌道は暫検査せられたれども、使用後日尙ほ淺きを以て未だ完全なる結果を認むること能はされども將來多大の望を囑すべきものならん、此軌條は American Safety Steel Rail Companyにて製作せられたるものなり。

(Railway Age Gazette, Vol. 60, No. 3, Jan. 21, 1916.....E)

○一三六封度軌條



Lehigh Valley にては、近頃一ヤード一三六封度の重量を有する軌條二千五百噸の注文をなせり、而して此の軌條は米國に於ける蒸汽鐵道にて使用せらるゝものの内最も重きものなり、其の寸法は高さ七吋、底部の幅六吋二分の一にして、現在使用せらるゝ百十封度軌條よりも高さ及び幅に於て各一吋を増加せり、而して一般の寸法は圖に示すか如し。

又此軌條の接合に使用せらるゝ角釘も亦新たに設計せられたるものにして、其寸法は圖に示すか如し。

今金屬分布の割合を示せば次の如し。

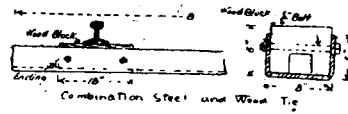
頭部の面積	四・七二平方吋	三五・四%
腹板の面積	三・一七平方吋	二二・七%
底部の面積	五・四六平方吋	四〇・九%
合計	一三・三五平方吋	一〇〇・〇%
惰率	八六・五七	
抵抗率(頭部)	二一・九八	

抵抗率(底部) 二八二七

Railway Age Gazette, Vol. 60, No. 3, Jan. 21, 1916.....(T)

○木鋼合製枕木

ペンシルヴェニア鐵道にては圖に示すか如く木材を挿入したる鋼枕木を試験せんか爲め、Parkesburg の附近にて約五〇〇挺を敷設したり、此の枕木は長さ八呎にして



5x8の寸法を有する□鐵を用ひ、其厚さは八分の三吋乃至十六分の五吋にして重さは一三〇封度乃至一八〇封度を有す、中央の底部に於ける孔は排水及び道床の接合に備ふるものなり、軌條の載る所はクレオソートにて防腐したる長さ十八吋の木材を締釦二本を以て締め付けたるものを置き、□鐵の底部より引出せし突起によりて其の移動を防止せり、此の上に鋼鐵の綴鐵を置き、軌條は通常の釘或は螺釘にて締附るものとす、此の木材の高さは□鐵の高さよりも凡そ二吋高くするものにして、軌條を信號回路に用ふる場合にても別に絶縁装置を爲すの必要なしと云ふ、此の枕木の壽命長きこと及び木材の交換に容易なること等は其の特色とする所なり。

或る場合には古枕木の腐蝕せざる部分或は木材の碎片よりも作ることを得べく、□鐵の壽命を長からしむるには廉價なる防腐方法を施すへし。

此の枕木の特許權は Texas Dalles の Standard Steel Tie 會社にて所有すと云ふ。

(Engineering News Oct. 28, 1915.....(T))

化 學

○ヨーロッパ粗製品粗製品の製造

拾種のヨーロッパ粗製品を變して直ちに染料となるべき殆んど三百種の間物となすに用ひられたる主なる方法は其數十一あり、箇々の場合に於ては少しく相異